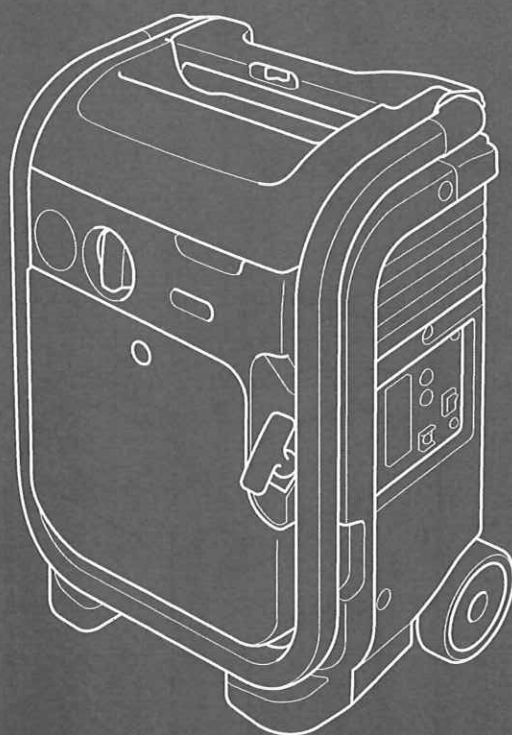




発電機

EU9iGB

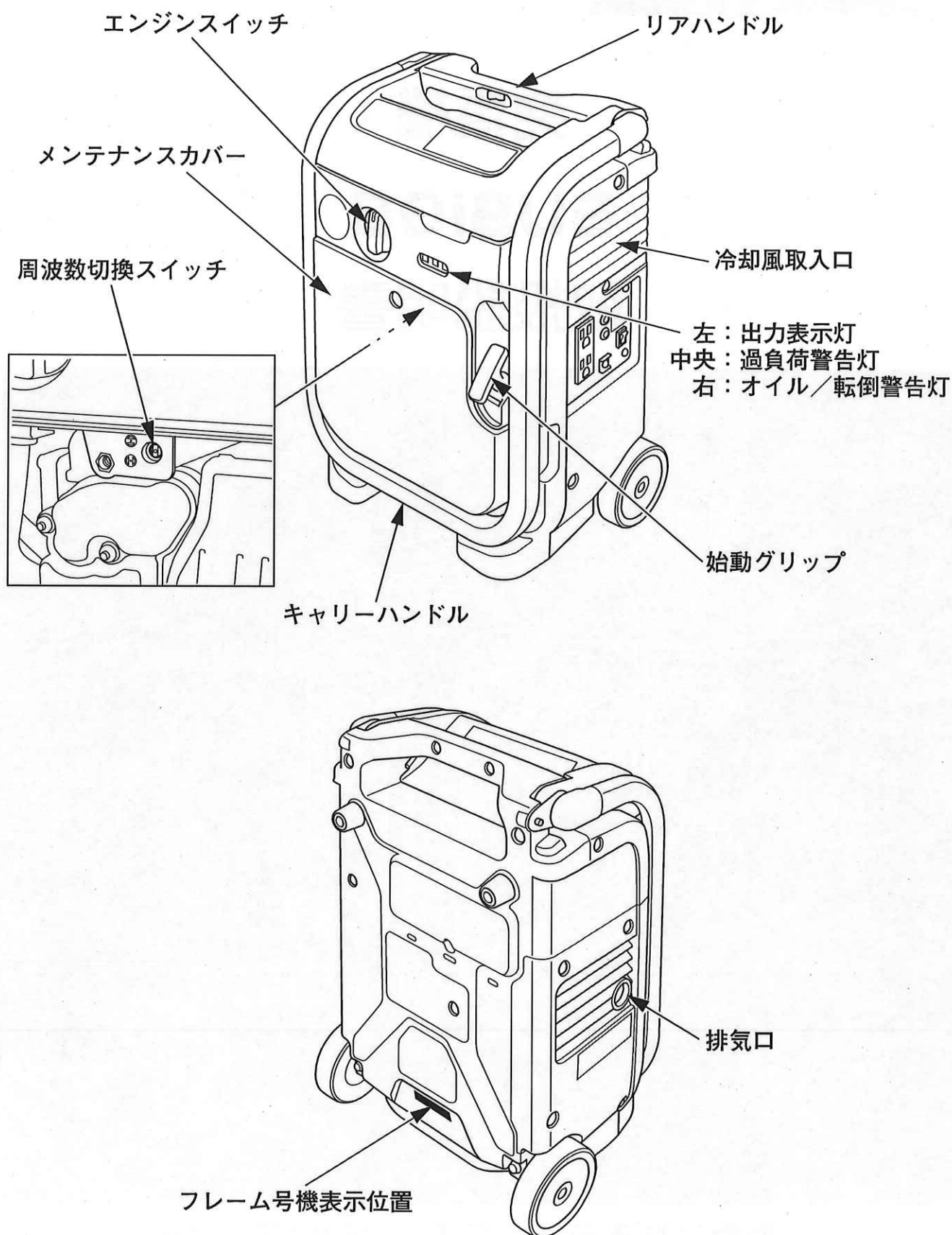
取扱説明書



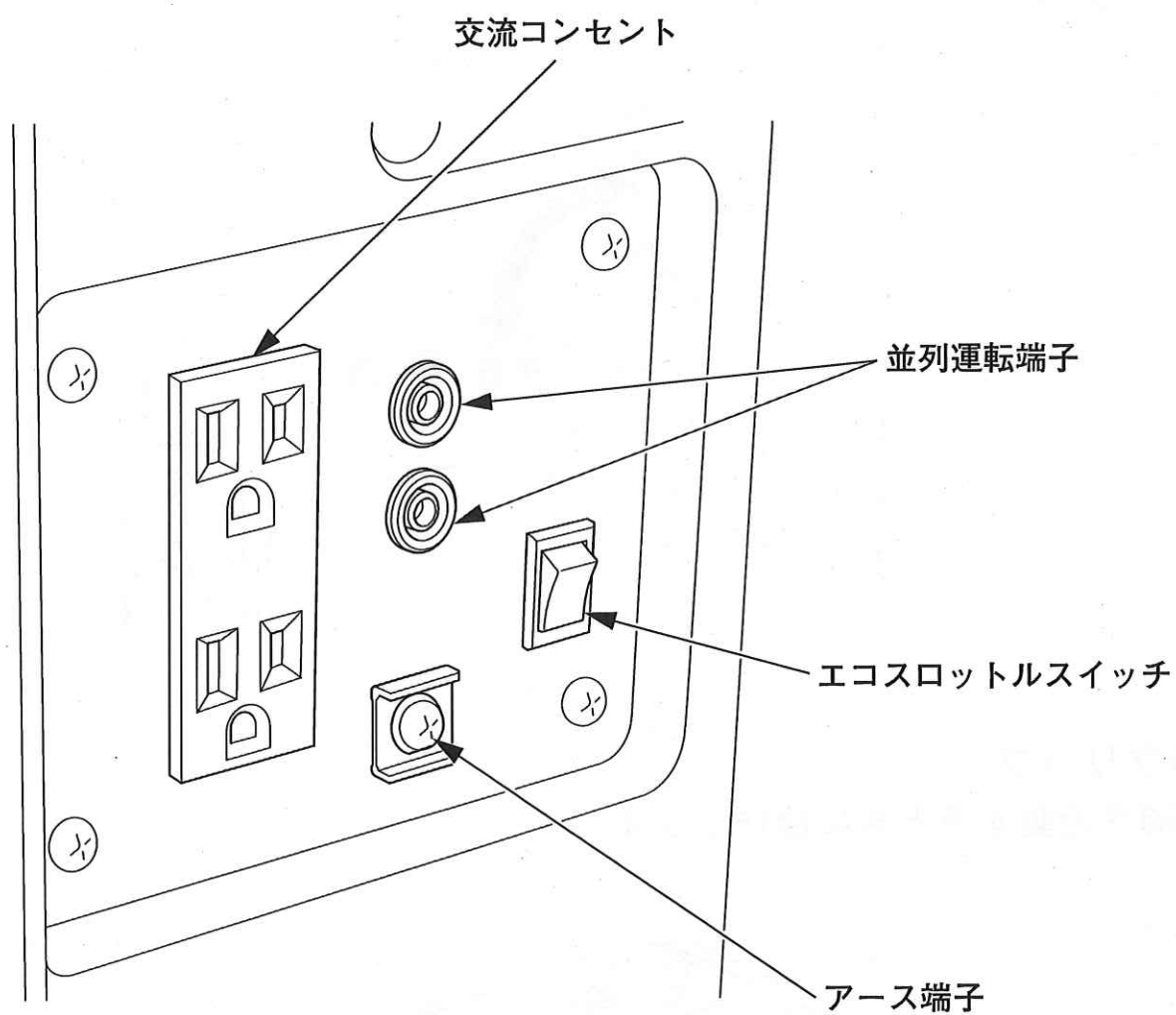
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

はじめてご使用になるときは、60頁「はじめてお使いいただく前に」をお読みください。

各部の名称と取扱いをおぼえましょう



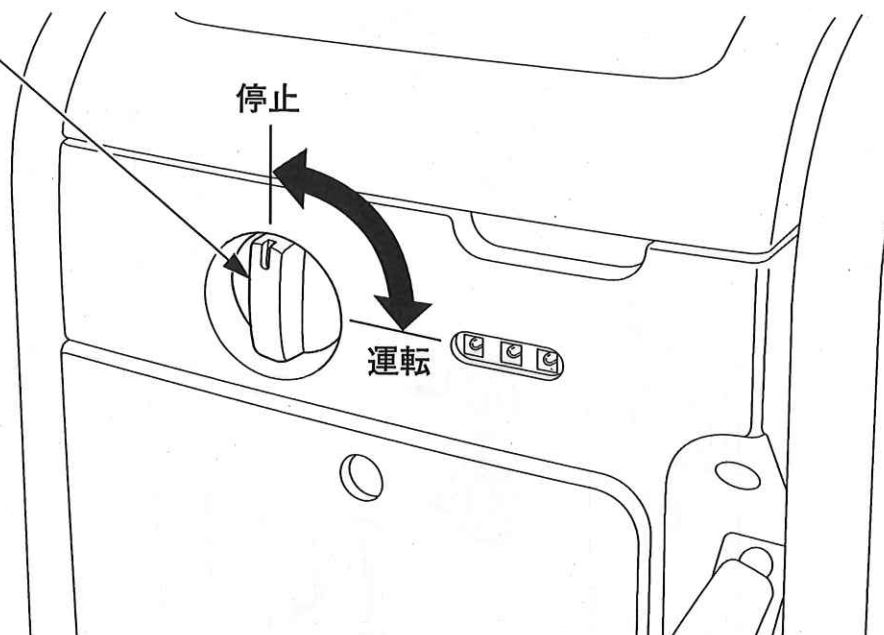
コントロールパネル



エンジンスイッチ

発電機を運転、停止するときに操作します。

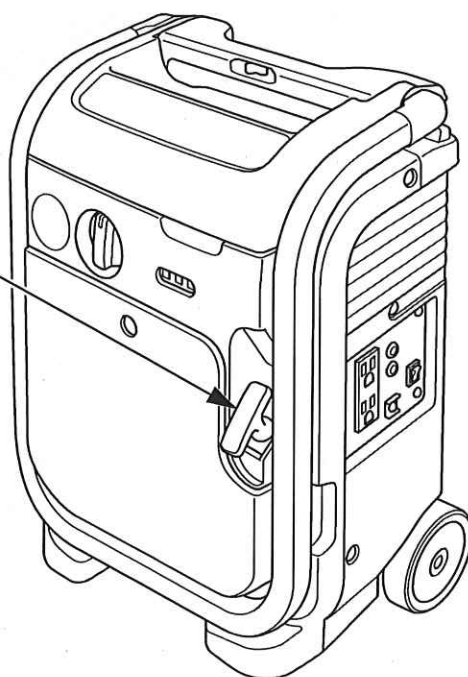
エンジンスイッチ



始動グリップ

発電機を始動するときに操作します。

始動グリップ



出力表示灯

発電状態と累積運転時間を確認できます。

- 発電中は出力表示灯（緑のランプ）が点灯し続けます。
- 累積運転時間はエンジン始動時の点滅回数で示します。

点滅なし：100 時間未満

1 回点滅：100 時間以上、200 時間未満

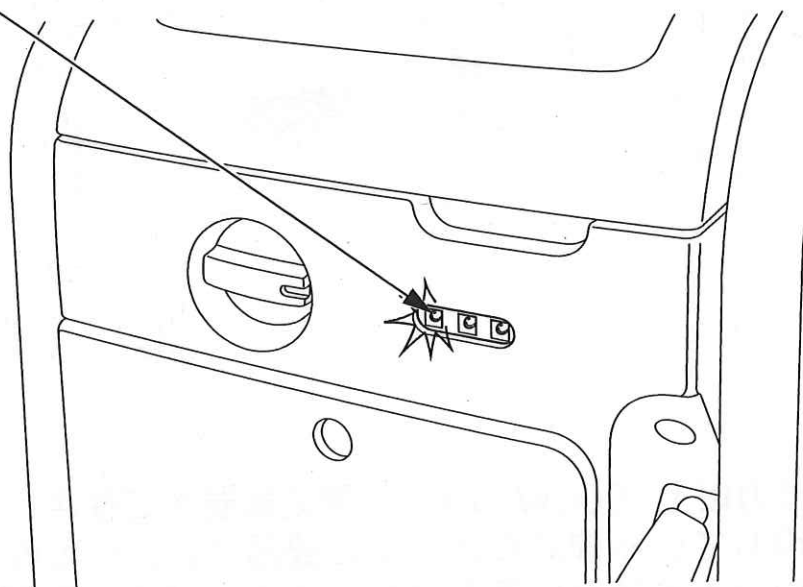
2 回点滅：200 時間以上、300 時間未満

3 回点滅：300 時間以上、400 時間未満

4 回点滅：400 時間以上、500 時間未満

5 回点滅：500 時間以上

出力表示灯（緑）

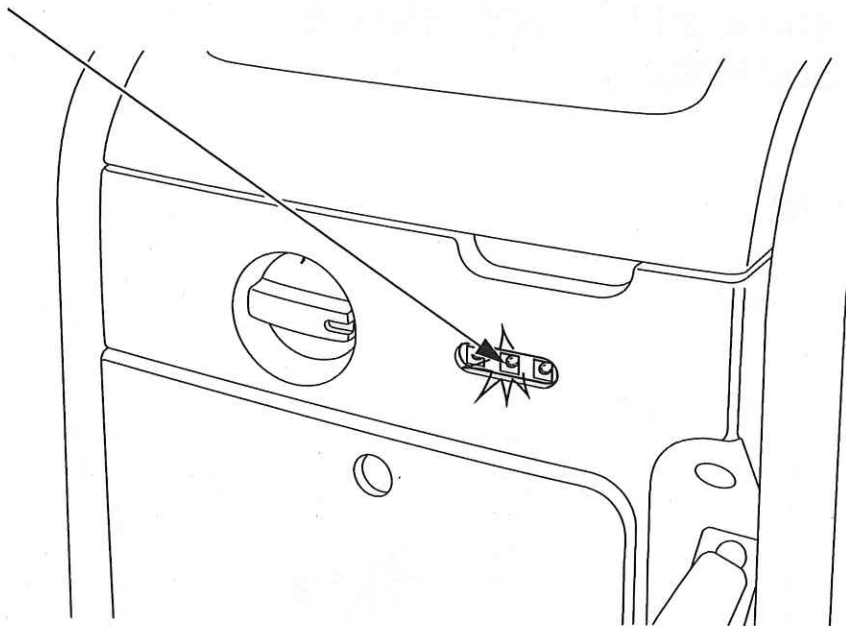


過負荷警告灯

発電中に使用電気機器に異常があった場合や、過負荷※のときに出力表示灯（緑のランプ）が消え過負荷警告灯（赤のランプ）が点灯し、電気が取出せなくなります。

電気機器は必ず定格出力内で使用してください。主要諸元（62 頁）、交流電源の使用できる範囲（63 頁）を参照してください。

過負荷警告灯（赤）



※ 過負荷とは：

発電機の定格出力以上（900W 以上）の電気機器をご使用になることです。モーターを使用している機器など一部の機器では、900W 以下でも過負荷となりご使用いただけない場合があります。（63 頁参照）

オイル／転倒警告灯

エンジンオイル量の不足と本機の転倒を警告するランプです。

- 本機のエンジンにはオイルアラート機構（焼付防止エンジン自動停止装置）が内蔵されています。

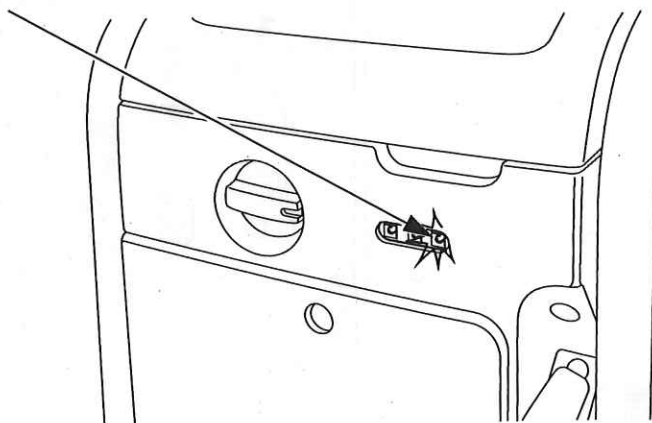
運転中にエンジンオイルが不足すると、オイル／転倒警告灯（赤のランプ）が点灯し、エンジンは自動的に停止します。

始動グリップを引いてオイル／転倒警告灯（赤のランプ）が点灯する場合、または運転中にオイル／転倒警告灯が点灯しエンジンが停止した場合は、エンジンオイル量を点検してください。

（点検・補給は 26 頁参照）

- オイルが規定量入っていても、本機が傾斜しているとオイルアラート機構または、転倒センサーが作動してエンジンが停止することがあります。

オイル／転倒警告灯（赤）

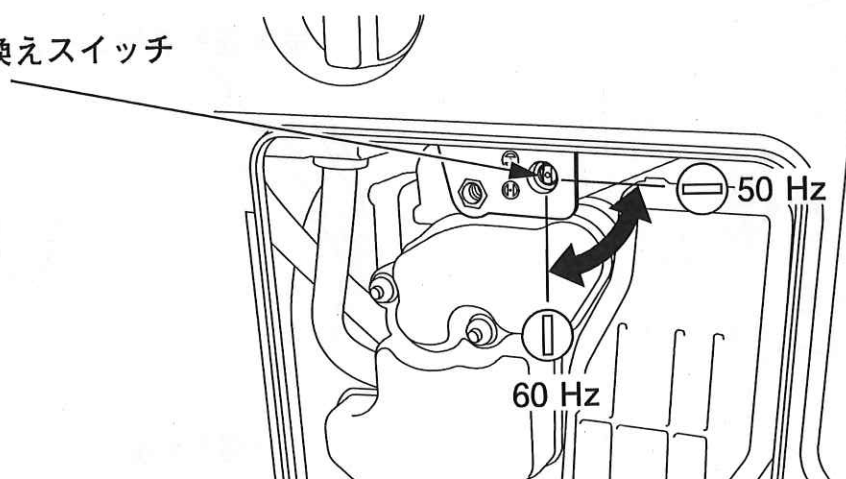


周波数切換えスイッチ

周波数の切換え（50 Hz ↔ 60 Hz）を行うスイッチです。

エンジンを始動する前に、接続する電気機器に合わせ周波数を切換えてください。

周波数切換えスイッチ



交流コンセント

交流電気を取出すところです。

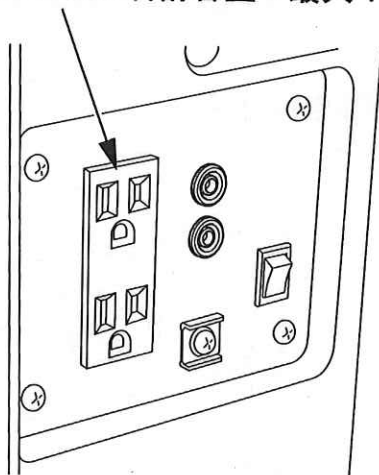
コンセントへプラグを差込む場合は、接触不良、抜けのないように確実に行ってください。

電気の取出しは、

- ・コンセントの上限を超えないでください。
- ・合計が発電機の上限を超えないでください。(63 頁参照)

100V 交流コンセント

- ・差込口 2 個の合計容量：最大 9 A [900 W(VA)]
- ・並列運転時 差込口 2 個の合計容量：最大 15 A [1500 W(VA)]



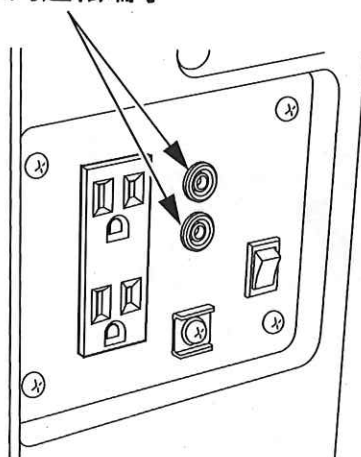
並列運転端子

並列運転をするときに専用コードを差し込む端子です。

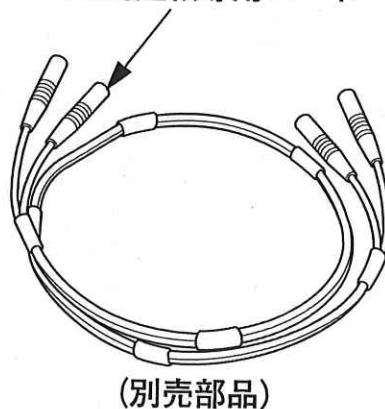
接続コードは並列運転専用コード（別売部品）を必ず使用してください。

専用コードはお買いあげ販売店またはサービス店にご注文ください。

並列運転端子



並列運転専用コード



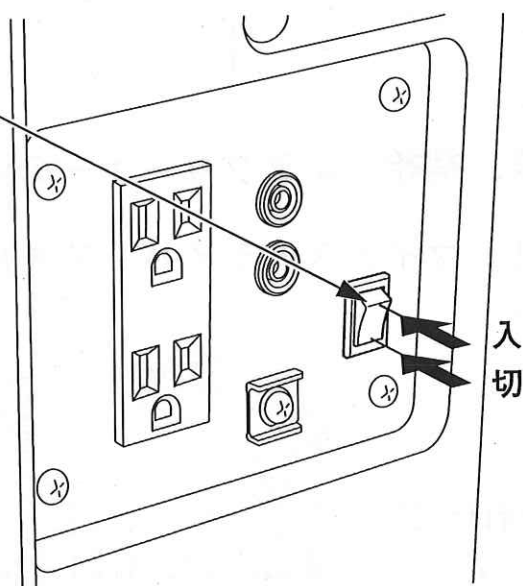
エコスロットルスイッチ

エコスロットルは、負荷に応じエンジン回転を変化させ、燃料消費と騒音を減らします。

スイッチ	エンジン回転数	効果・特徴
入	変化範囲が広い (負荷に合わせる)	燃料消費と騒音を減らす
切	変化範囲が狭い (定格出力を維持)	・ 負荷変動の大きい機器に適す (モーター動力の機器に適す) ・ 高負荷機器 (定格出力以下) に適す

- ・ スイッチ “ 入 ” で保護装置の機能により電気が取出せない場合でも、“ 切 ” で取出せることがあります。スイッチ “ 切 ” で発電を試みる場合、エンジンを一旦停止してください。

エコスロットルスイッチ



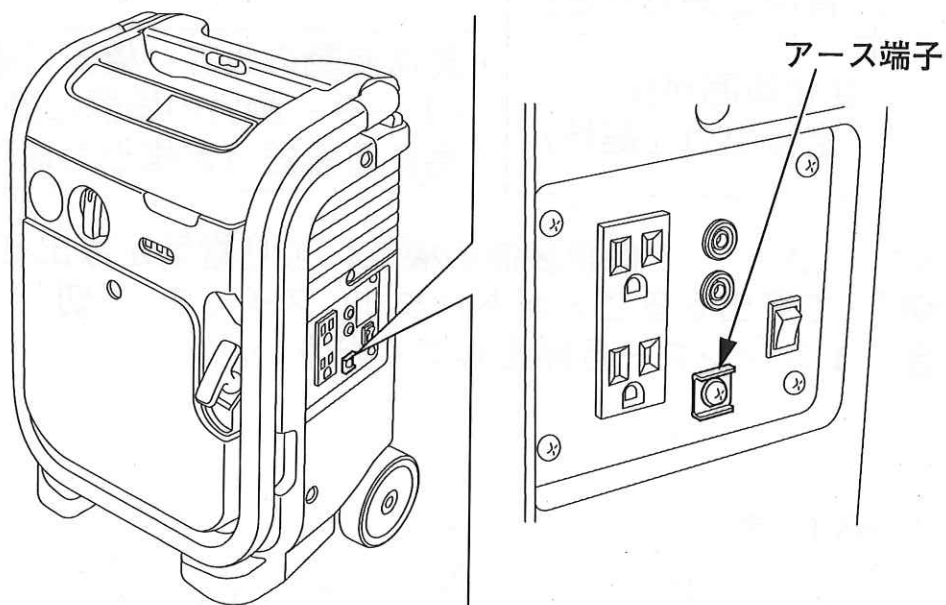
アース端子

発電機をアースする端子です。

発電機に接続する電気機器を大地にアースしたときは、発電機も必ずアース※してください。

※アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。

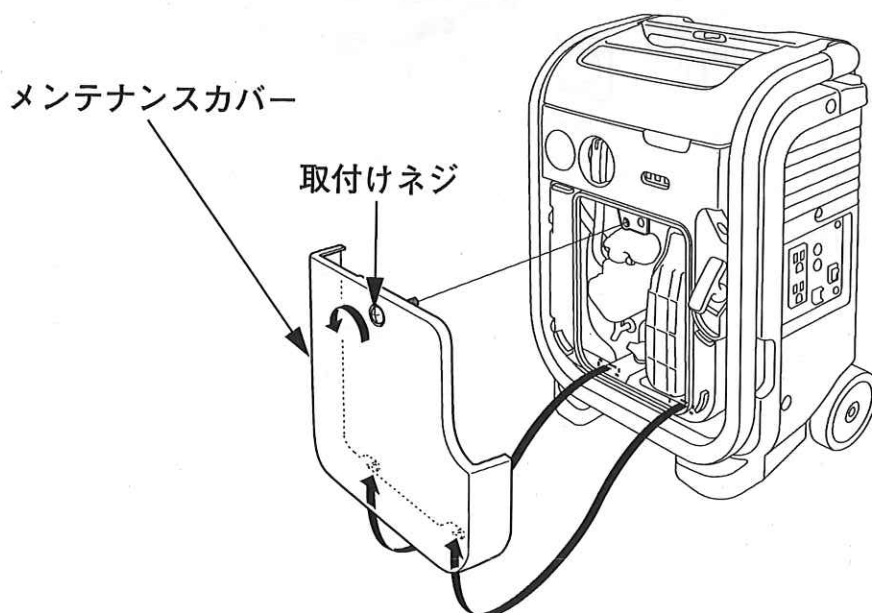
アースに関するご不明点は、お買いあげ販売店にご相談ください。



メンテナンスカバー

エンジンオイル量点検、補給、エアクリーナーの清掃などをするときに取外します。

メンテナンスカバーは、マイナスドライバー等を使用して取付けネジをゆるめ、取外します。



キャリーハンドル

本機を移動するときに引き上げて使用します。(52 頁参照)

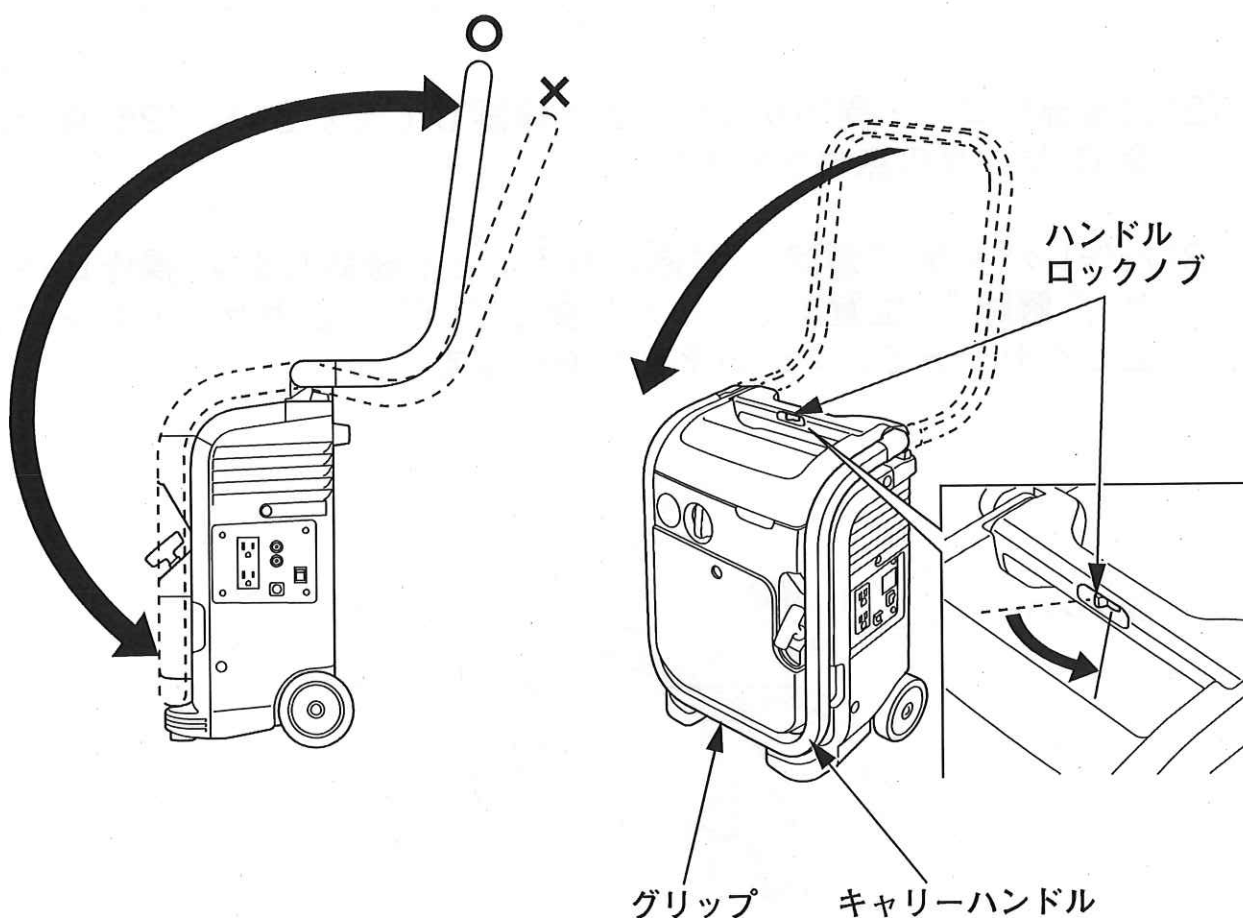
移動後はキャリーハンドルを下げてください。

指などを挟まないように注意して、本機を押さえながらキャリーハンドルを操作してください。また、キャリーハンドルを引き上げるときは無理に後ろに倒さないでください。

上げ方：キャリーハンドルのグリップを持って引き上げます。

下げ方：ハンドルロックノブを図の矢印の方向にスライドしてキャリーハンドルを押し下げます。

ハンドルロックノブがスライドしないときはキャリーハンドルを前後に少し動かしてください。

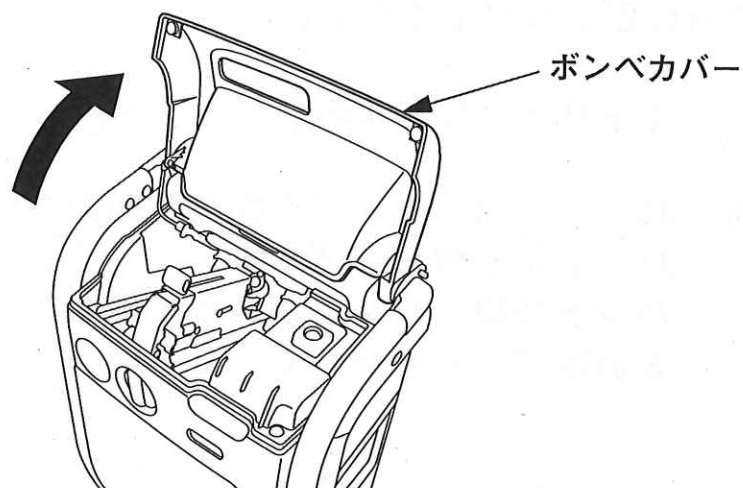


1. カセットボンベを取付けます。

(1) ボンベカバーを開けます。

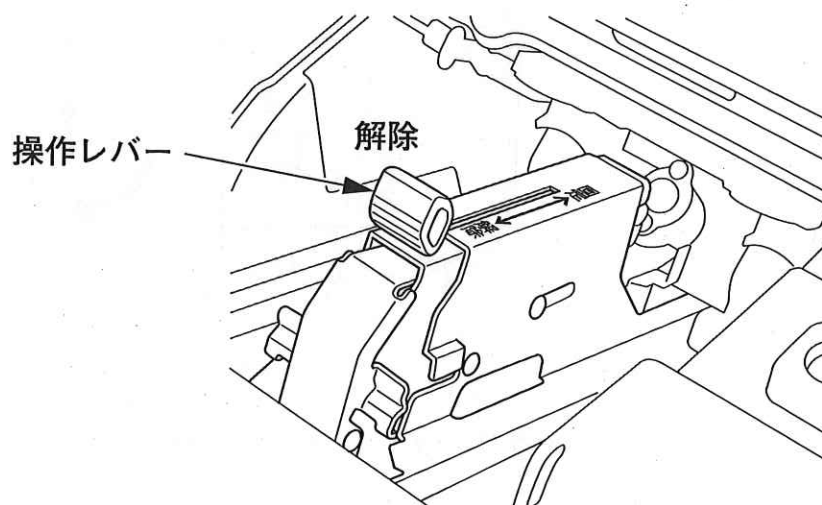
ボンベカバーはスプリングで自動的に閉まるので片手で押さえながら作業を行ってください。

内部にゴミ・異物がないことを確認してください。

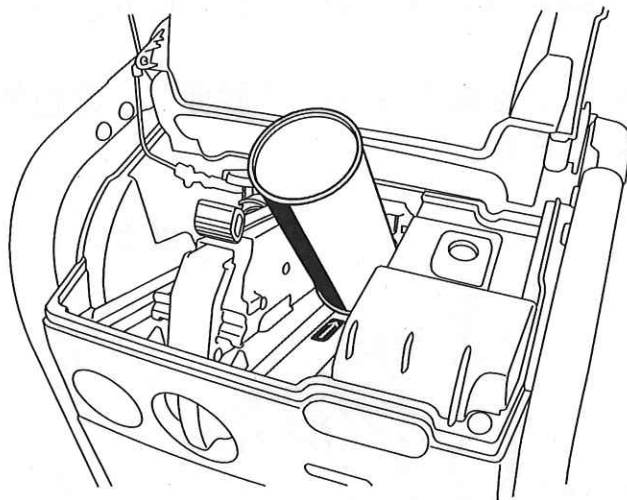


(2) 口金部にゴミ・異物がないことを確認してください。(25 頁の口金 O リングの点検を参照)

(3) 操作レバーが“解除”位置にあることを確認します。操作レバーが“解除”位置までしっかり戻っていないとカセットボンベを正しくセットできないおそれがあります。



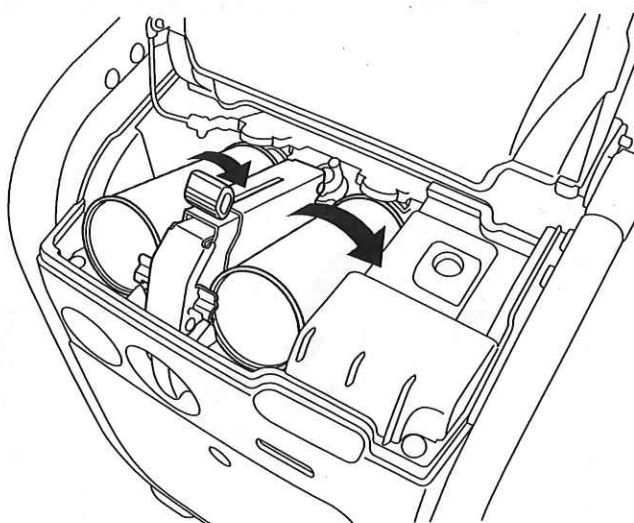
- (4) カセットボンベ付属のキャップを外し、カセットボンベの切欠きまたは赤いラインを下側にし、先端から奥に差し込みます。同様の手順で2本目もセットしてください。



取扱いのポイント

カセットボンベは必ず2本セットして使用してください。カセットボンベを1本しかセットしないで使用すると本機が破損するおそれがあります。

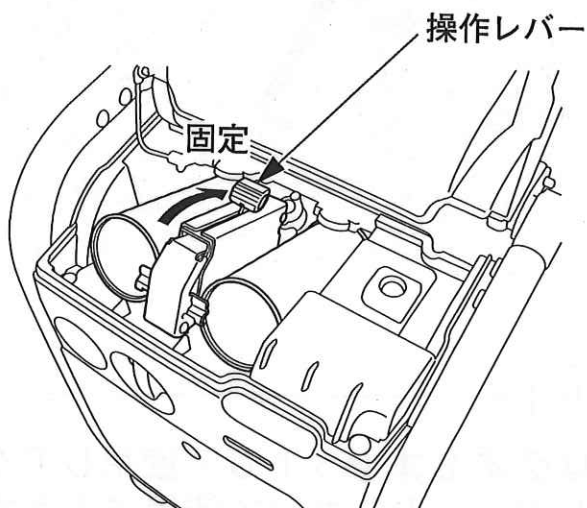
- (5) カセットボンベが連続して回転しないことを確認します。



- (6) 操作レバーを“解除”から“固定”にスライドさせます。カセットボンベが正しい状態でセットされていないと操作レバーは動きません。

操作レバーが動かない場合はカセットボンベを正しくセットし直してください。

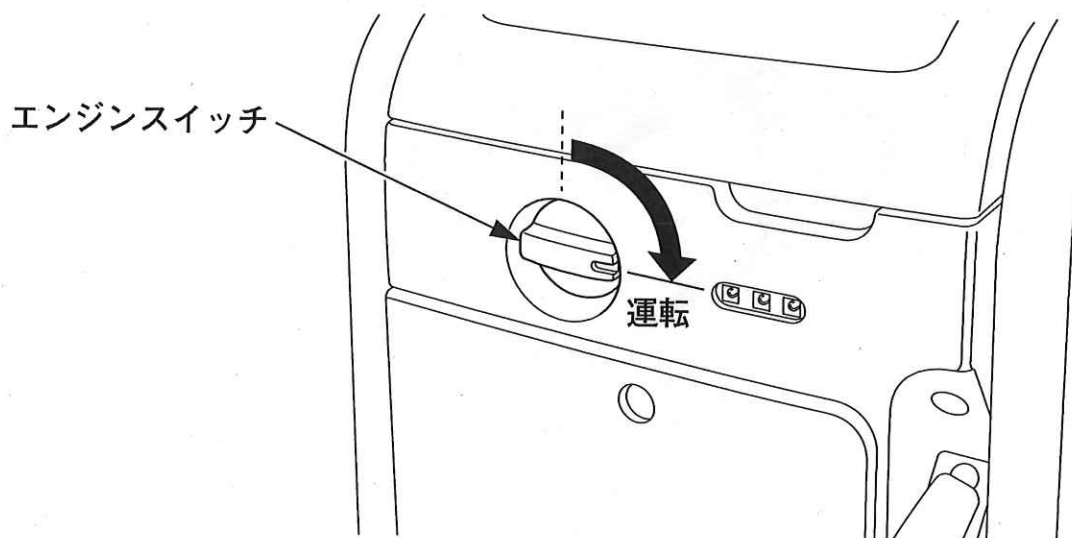
操作レバーから手を離しても“固定”の位置から戻らないことを確認してください。



- (7) ボンベカバーを閉じます。

ボンベカバーを閉じるときは手をそえてゆっくりと閉じてください。

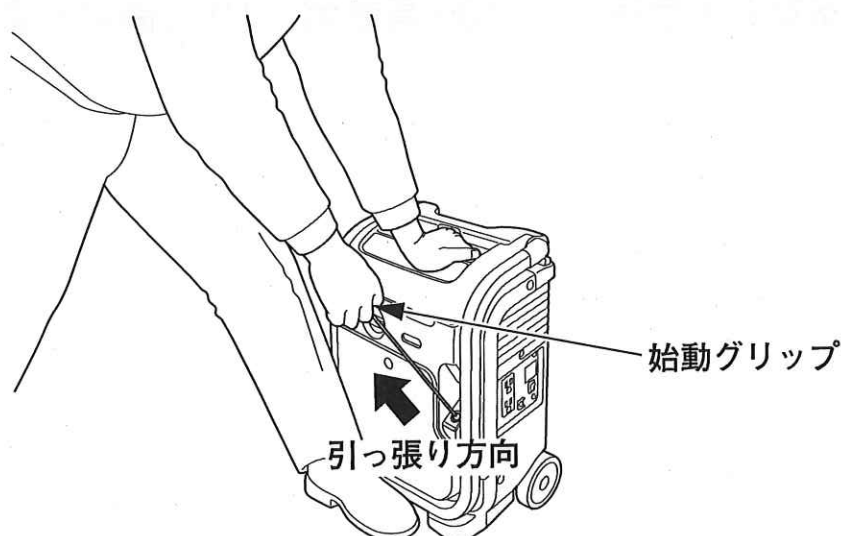
2. エンジンスイッチを“運転”の位置に合わせます。



3. 本機のボンベカバー部を押さえ本機を固定しながら、始動グリップを静かに引いて、重くなる所で止めます。次に矢印の方向に強く引っ張ります。始動グリップは手を添えてゆっくりと元に戻してください。

⚠ 警告

始動グリップを引くときはリアハンドルを押さえないでください。本機が転倒し事故を引き起こすおそれがあります。



取扱いのポイント

- 始動グリップは必ず指定の方向へ引いてください。無理な方向への操作は、ロープの寿命を著しく縮めます。
- 始動グリップは勢いよく引いてください。始動時のエンジン回転が速くなると、点火火花が飛びエンジンがかかります。エンジン回転が遅いとエンジンがかからないことがあります。
- 始動グリップは手を添えてゆっくりと元に戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。
- 運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響をあたえます。

エンジンが始動しないときは、57 頁の「エンジンが始動しないとき」を実施してください。

4. 約 1 分間暖機運転を行います。

取扱いのポイント

始動直後のエンジン停止を繰り返し行わないでください。エンジンの始動不良など、不具合の原因になります。

非常用電源などの用途で常時使用しない場合の試運転は、暖機運転後に照明機器などを使用して（35 頁参照）10 分間以上運転してください。

電気の取出しかた

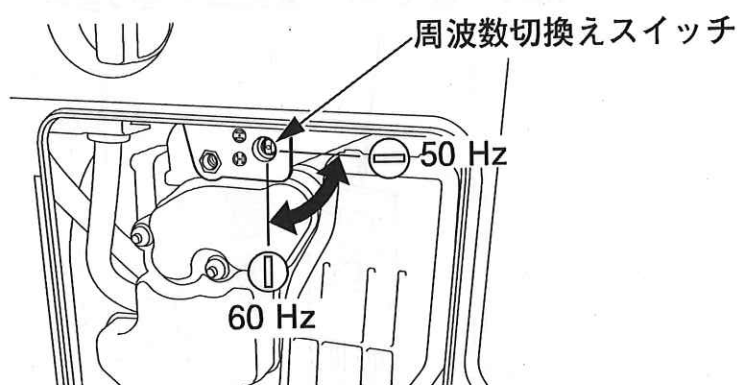
電気機器を接続する前に必ず“安全にお使いいただくためにこれだけはぜひ守りましょう”の項目をよくお読みください。

⚠ 警告

電力会社からの電気配線には絶対に接続しないでください。
火災あるいは人身事故、または本機や使用電気機器が故障する原因となります。

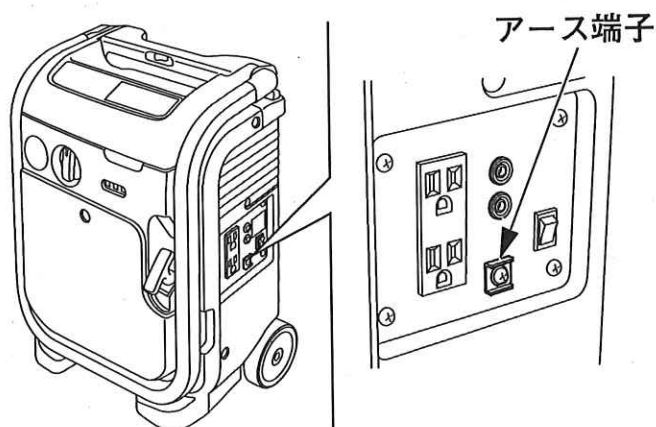
- 発電機の使用に際しては法律や規則がありますので、労働安全衛生規則、消防法、電気事業法などに従ってください。
- 使用する電気機器の消費電力を確認いただき、「交流電源の使用できる範囲」内で電気機器を使用してください。(63 頁参照)
- 使用する電気機器・電源プラグは、電気機器の説明書に従ってください。

1. 周波数切換えスイッチを接続する電気機器の周波数に合わせます。



2. 発電機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、発電機の本体も必ずアース※してください。

※アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。
アースに関するご不明点は、お買いあげ販売店にご相談ください。



3. 「発電機のかけかた」に従ってエンジンを始動します。(29～34 頁参照)

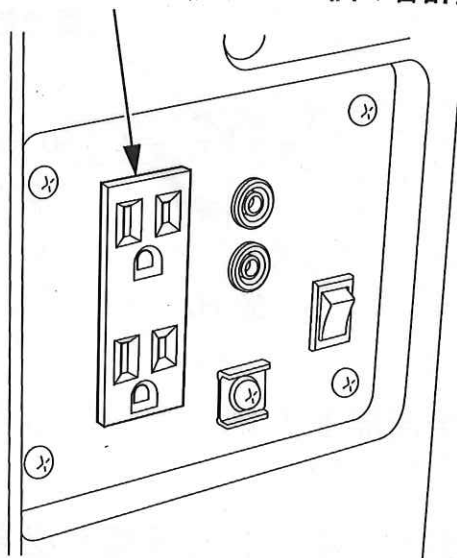
- 出力表示灯（緑のランプ）が点灯せず、過負荷警告灯（赤のランプ）が点灯した場合はエンジンスイッチを“停止”の位置にし、エンジンを一旦停止させてから、エンジンを再始動してください。

4. 接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認し、コンセントへ電気機器のプラグを確実に差込みます。

⚠ 注意

接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認してください。電気機器のスイッチが入っていると、電気機器が急に作動し、思わぬケガや事故を起こす可能性があります。

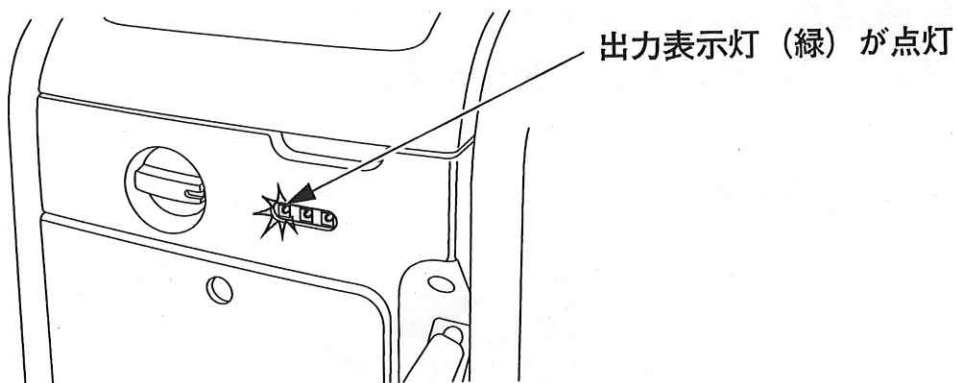
交流コンセント
100V 最大 9A（差込口 2 個の合計）



5. 電気機器のスイッチを入れます。

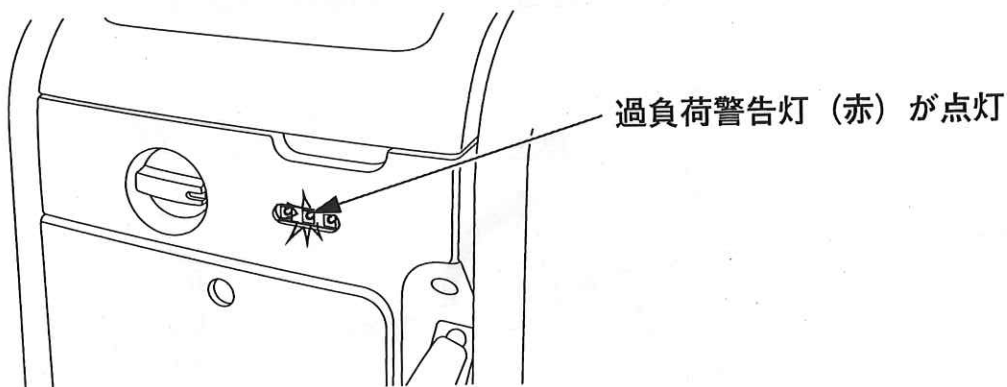
- 正常運転（定格負荷）でご使用の場合は、出力表示灯（緑のランプ）が点灯し続けます。

正常運転の場合



- 過負荷運転（63 頁参照）や使用電気機器が異常を起こした場合は、出力表示灯（緑のランプ）が消え、過負荷警告灯（赤のランプ）が点灯し続け、電気が取出せなくなります。
このときエンジンは停止しませんのでエンジンスイッチを“停止”の位置にし、エンジンを停止してください。

過負荷運転や短絡の場合



取扱いのポイント

モーターなどの大きな起動電力を必要とする電気機器を使用すると、一時的（約4秒間）に過負荷警告灯（赤のランプ）と出力表示灯（緑のランプ）が同時に点灯しますが異常ではありません。電気機器が起動した後は、過負荷警告灯（赤のランプ）が消え出力表示灯（緑のランプ）が点灯し続けます。

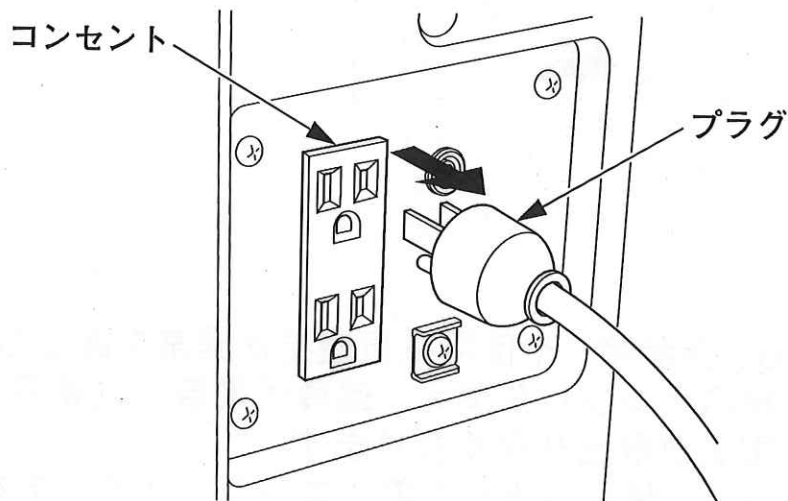
発電機のとめかた

緊急停止の場合

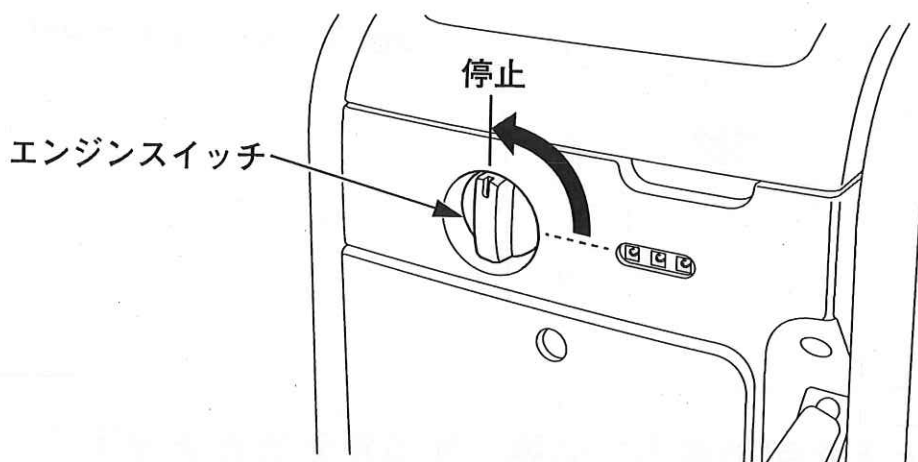
エンジンスイッチを “停止” の位置にします。

通常の停止

1. 電気機器のスイッチを切ります。
2. プラグをコンセントから抜きます。

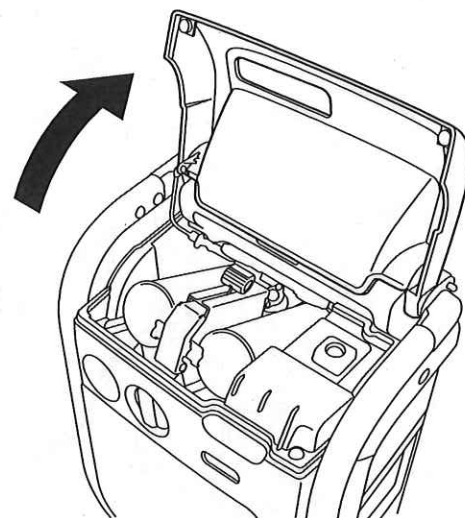


3. エンジンスイッチを “停止” の位置にします。



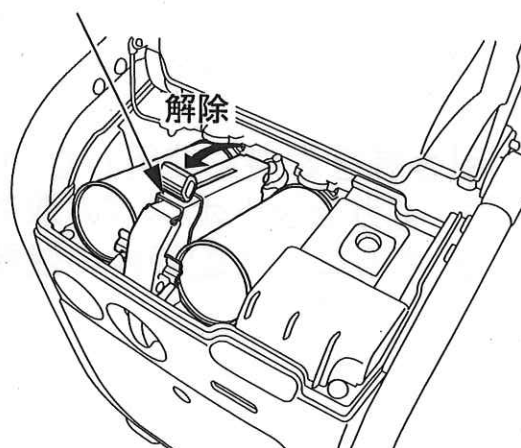
<カセットポンベの取外し>

1. ポンベカバーを開けます。
ポンベカバーはスプリングで自動的に閉まるので片手で押さえながら作業を行ってください。

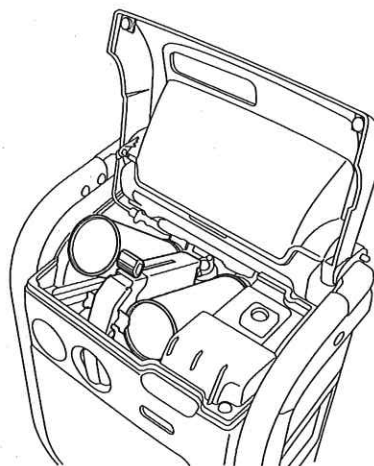


2. 操作レバーを“固定”から“解除”へ、指をはさまないようにゆっくりスライドさせます。

操作レバー



3. カセットポンベを手前側から浮かせて取外します。同様に2本目も取外します。



4. ポンベカバーを閉じます。
ポンベカバーを閉じるときは手をそえてゆっくりと閉じてください。

HONDA
The Power of Dreams

30Z32602
00X30-Z32-6020

© 2013 本田技研工業株式会社
© 2013 本田技研工業株式会社